

# 平成30年3月期 第1四半期 決算説明会

平成29年8月4日

株式会社 **DTS**

## 1. 株式会社DTSインサイトの設立

平成29年4月1日、DTSグループ組込み事業の拡大に向けて、横河デジタルコンピュータ株式会社、アートシステム株式会社、及びDTS組込み関連事業を統合し、株式会社DTSインサイトを設立した。

## 2. 自己株式の取得

平成29年5月～6月、資本効率の向上、並びに株主へより一層の利益還元を図るため、自己株式を取得した（約181千株、約6億円）

## 3. データリンクス株式会社の完全子会社化

平成29年8月1日、グループ一体経営に基づく事業戦略策定や経営資源の最適配分など、グループ経営の更なる連携強化のため、データリンクス株式会社を完全子会社とした（DTS自己株式を対価とした株式交換を実施）

# 第1四半期 連結業績

売上高は、新規顧客の獲得、既存案件の拡大や、プロダクトビジネスなどが増加したことにより、前年同期比+11.6億円。過去最高となった。

営業利益は、不採算案件による一時的な原価増、新卒採用増加により人件費などの販管費が増加したが、増収効果などにより、+0.5億円の増益。

(単位：億円、%)	実績	売上比(前年同期比)	前年同期比		業績予想に対する進捗率
			増減	比率	
売上高	201.8	—	+11.6	106.1%	24.5%
売上総利益	36.6	18.2% (Δ0.4pt)	+1.3	103.7%	22.6%
販管費	21.0	10.4% (Δ0.2pt)	+0.7	103.9%	26.0%
営業利益	15.5	7.7% (Δ0.2pt)	+0.5	103.4%	19.2%
経常利益	15.7	7.8% (Δ0.3pt)	+0.2	101.6%	19.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10.1	5.0% (Δ0.8pt)	Δ0.8 <sup>※</sup>	92.3%	19.4%

※前年同期比減の主な要因は、データリンクス(株)の人材派遣事業の一部譲渡による特別利益の減少△約1.6億円

# 第1四半期 セグメント別 売上高

- ・金融公共セグメントは、統合案件等の減少を金融分野新規案件の拡大や官公庁向け案件などでカバーし、前年並みを確保。
- ・法人通信・ソリューションセグメントは、運輸、情報通信、卸売・小売などの幅広い業種で新規顧客獲得、既存案件拡大が進み、増収。
- ・地域・海外等は、プロダクト・地域ビジネスなどが好調で、増収。

(単位：億円、%)		実績 (※)	構成比 (前年同期比)		前年同期比		業績予想に 対する進捗率
売上高		201.8	—		+11.6	106.1%	24.5%
金融公共		69.4	34.4%	(Δ2.2pt)	Δ0.2	99.6%	24.0%
法人通信 ソリューション		49.9	24.7%	(+1.7pt)	+6.1	114.0%	22.7%
運用BPO		30.3	15.0%	(Δ0.6pt)	+0.6	102.1%	24.3%
地域・海外等		52.1	25.8%	(+1.1pt)	+5.1	111.0%	27.3%

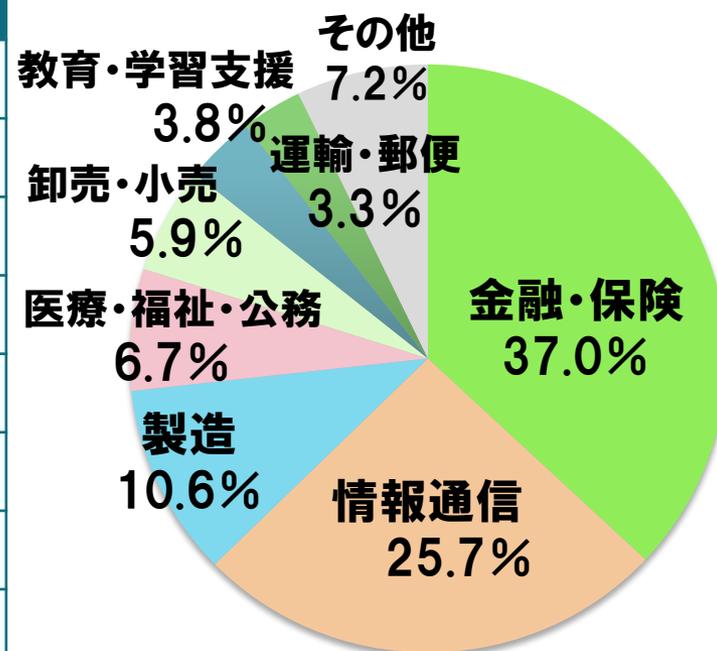
※実績はグループ外への売上高

# 第1四半期 エンドユーザー別 連結売上高

- ・金融・保険は、保険などが増加したが統合案件の縮小などにより微減。
- ・医療・福祉・公務は、官公庁や共済組合、健保などの拡大で増収。
- ・卸売・小売は、ソリューション案件などの拡大により増収。
- ・運輸・郵便は、航空系を中心に拡大し、増収。

## 経済産業省による業種分類

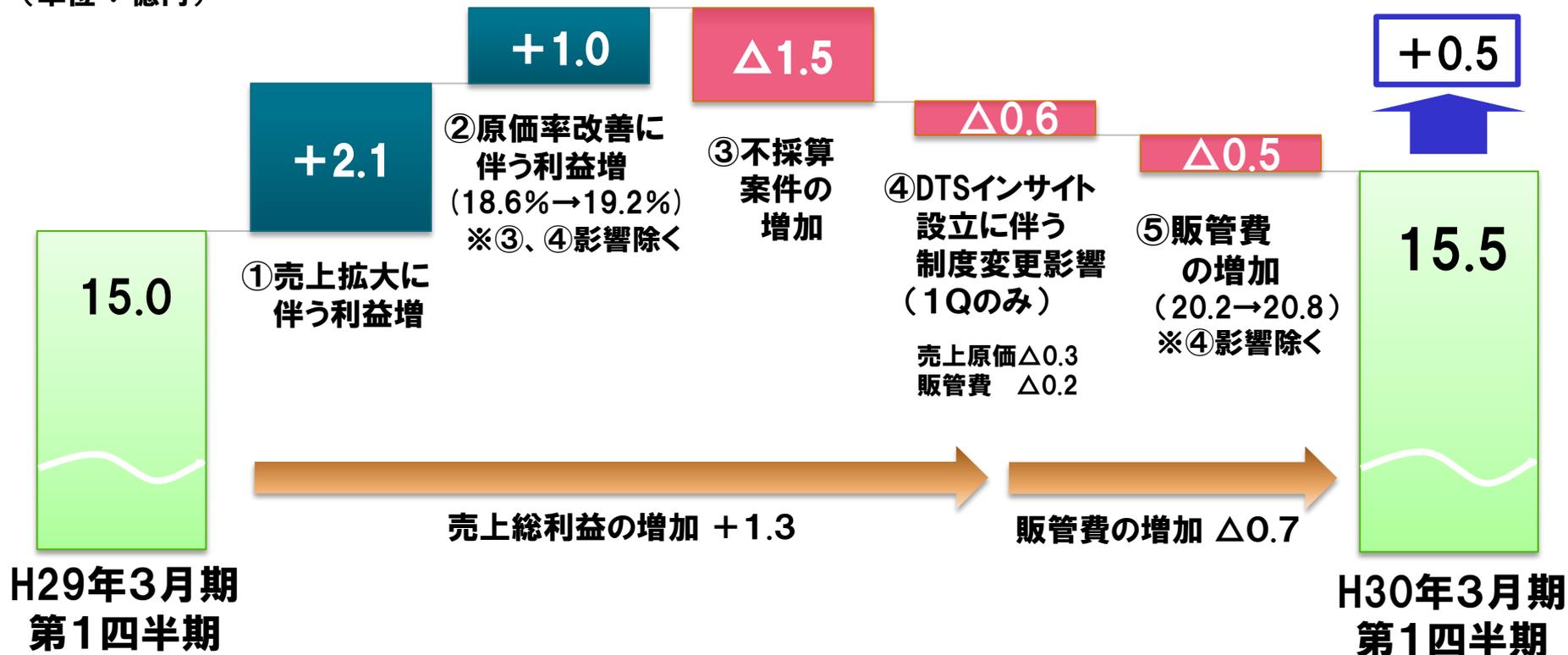
(単位:億円、%)	金額	構成比	前年同期比	
金融・保険	74.6	37.0%	△0.8	98.9%
情報通信	51.8	25.7%	+0.2	100.6%
製造	21.3	10.6%	+1.1	105.9%
医療・福祉・公務	13.5	6.7%	+3.7	138.8%
卸売・小売	11.8	5.9%	+3.0	134.9%
教育・学習支援	7.5	3.8%	△0.8	90.4%
運輸・郵便	6.6	3.3%	+1.4	126.9%
その他	14.4	7.2%	+3.5	132.9%
合計	201.8	100.0%	+11.6	106.1%



# 第1四半期 連結営業利益の増減要因

- ・不採算案件の一時的な原価増があったが、売上拡大、生産性向上などによる原価率改善により、売上総利益は前年同期比で増加。
- ・DTSインサイト設立に伴う制度変更影響や、新入社員の増加などによる販管費増をカバーし、営業利益は前年同期比で増加。

(単位：億円)



# 第1四半期 セグメント別受注

## 【受注残高の状況】

- ・金融公共セグメントは、統合案件の減少や契約期間の短期化などで減少。
- ・法人通信・ソリューションセグメントは、運輸業、製造業、ソリューション案件において、既存案件の拡大や新規顧客獲得が進み、前年同期比で増加。
- ・地域・海外等セグメントは、プロダクトビジネスが好調に推移し増加。

単位(億円、%)	受注高				受注残高			
	実績(※)	構成比	前年同期比		実績(※)	構成比	前年同期比	
<b>連結</b>	143.7	—	△22.5	86.4%	282.1	—	+2.1	100.8%
金融公共	31.9	22.3%	△38.5	45.3%	104.2	36.9%	△22.9	82.0%
法人通信 ソリューション	48.8	34.0%	+11.8	132.2%	66.6	23.6%	+20.4	144.2%
運用BPO	6.9	4.8%	△5.3	56.5%	74.6	26.4%	△0.7	99.1%
地域・海外等	55.9	38.9%	+9.5	120.5%	36.7	13.0%	+5.3	117.1%

※実績はグループ外への受注高、受注残高

# 第1四半期 個別業績

- ・売上高は、運輸、情報通信、卸売・小売など幅広い業種で新規案件獲得、既存案件拡大が進み、前年同期比で増収。
- ・営業利益は、新規ビジネスの企画・開発などで販管費が増加したが、増収効果および原価率の改善などにより、前年同期比で増益。

(単位：億円、%)	実績	売上比(前年同期比)	前年同期比(※)		業績予想に対する進捗率
売上高	137.1	—	+4.6 <+5.6>	103.5% <104.3%>	23.9%
売上総利益	26.4	19.3% (+0.2pt)	+1.2 <+1.4>	104.8% <106.0%>	24.0%
販管費	11.3	8.3% (+0.1pt)	+0.4	104.6%	25.3%
営業利益	15.0	11.0% (+0.2pt)	+0.7 <+0.9>	105.0% <107.0%>	23.0%
経常利益	17.6	12.8% (+0.6pt)	+1.3 <+1.6>	108.3% <110.1%>	26.1%
当期純利益	12.7	9.3% (+0.1pt)	+0.5 <+0.7>	104.3% <105.9%>	27.5%

※ <>内はDTSインサイトへの事業移管影響を除いた数値

# (参考)主なプレスリリース

公表日	会社名	タイトル・概要
5月11日	DTS	<p>「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」</p> <p>※取得予定数:200千株、総額:600百万円、期間:平成29年5月15日～平成29年6月16日</p>
5月11日	DTS データリンクス	<p>「株式会社DTSによるデータリンクス株式会社の完全子会社化に関する株式交換契約締結(簡易株式交換)のお知らせ」</p> <p>※割当比率:DTS1株に対しデータリンクス0.73株、交付予定株式数:DTS普通株式787,614株</p>
5月11日	DTS	<p>「本店移転に関するお知らせ」</p> <p>※本店を東京都中央区八丁堀へ平成29年10月に移転予定</p> <p>&lt;新聞掲載&gt; 5月16日:日刊工業新聞 5月23日:日本情報産業新聞</p>
6月19日	DTS	<p>「光世証券のWEBサイト『光世倶楽部』を全面再構築」</p> <p>※光世証券株式会社 WEB サイト「光世倶楽部」のシステムを全面再構築し、5月8日より稼働開始。システムの構築には業務アプリケーションの自動開発ツール「GeneXus(ジェネクス)」を採用し、3カ月という短期間で開発を実現。</p> <p>&lt;新聞掲載&gt; 6月20日:日刊工業新聞 6月30日:ニッキン</p>
6月19日	DTS	<p>「自己株式の取得状況および取得終了に関するお知らせ」</p> <p>※取得総数:181,900株、取得総額:599,959,500円 期間:平成29年5月15日～6月16日</p>
7月 4日	DTSインサイト	<p>「組込み開発における“派生開発”にフォーカスしたソフトウェア構造分析ツール『Re:Zolver(リゾルバー)』の提供を開始」</p> <p>※組込みソフトウェアの開発の派生開発時に重要となるソフトウェアの構造や依存関係を可視化し、既存コードへの影響を効率的に検証することができる、バイナリベースのソフトウェア構造分析ツール「Re:Zolver(リゾルバー)」を開発、平成29年6月30日より提供を開始。</p>
7月24日	DTS WEST	<p>「本店移転のご案内」</p> <p>※京都オフィス(本店)と京都五条オフィスを統合、本店を京都市中京区へ平成29年8月に移転予定</p>

# 平成30年3月期 第1四半期 決算説明会

## ご清聴ありがとうございました

### 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の売上高および利益などの予想数値は、業界の動向を含む経済情勢、お客様の動向など、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としておりますが、これらは、種々の不確実な要因の影響を受けます。したがって、実際の売上高および利益などは、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おきください。